

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年8月分:速報)

＜対世界＞

○輸出総額:9,990 億円(伸率:+2.6%) ⇒ 5か月ぶりのプラス

・順位:20位、8月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(560か月、8月は47か月)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等電子部品(同+10.7%)、船舶(同+49.3%)

○輸入総額:8,458 億円(伸率:+3.6%) ⇒ 7か月ぶりのプラス

・順位:34位、8月としては4位

・増加品目:航空機類(同936.8倍)、金属鉱及びくず(同+40.7%)

○差引額:1,532 億円(伸率:▲2.7%) ⇒ 7か月連続の輸出超過

・順位:56位、8月としては3位

為替レート: 2025年8月:147.73円/ドル(2024年8月:150.89円/ドルと比べ2.1%の円高)

＜品目別動向＞

○輸出

半導体等電子部品(1,686 億円→1,866 億円、伸率:+10.7%)は、香港(586 億円→830 億円、同+41.6%)及びベトナム(268 億円→360 億円、同+34.1%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

また、船舶(324 億円→483 億円、同+49.3%)は、マーシャル(43 億円→179 億円、同4.1倍)及びEU(実績なし→55 億円)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、自動車(2,529 億円→2,358 億円、同▲6.8%)は、アメリカ(783 億円→473 億円、同▲39.6%)及び中国(557 億円→496 億円、同▲11.1%)向けが減少し、5か月連続のマイナスとなった。

○輸入

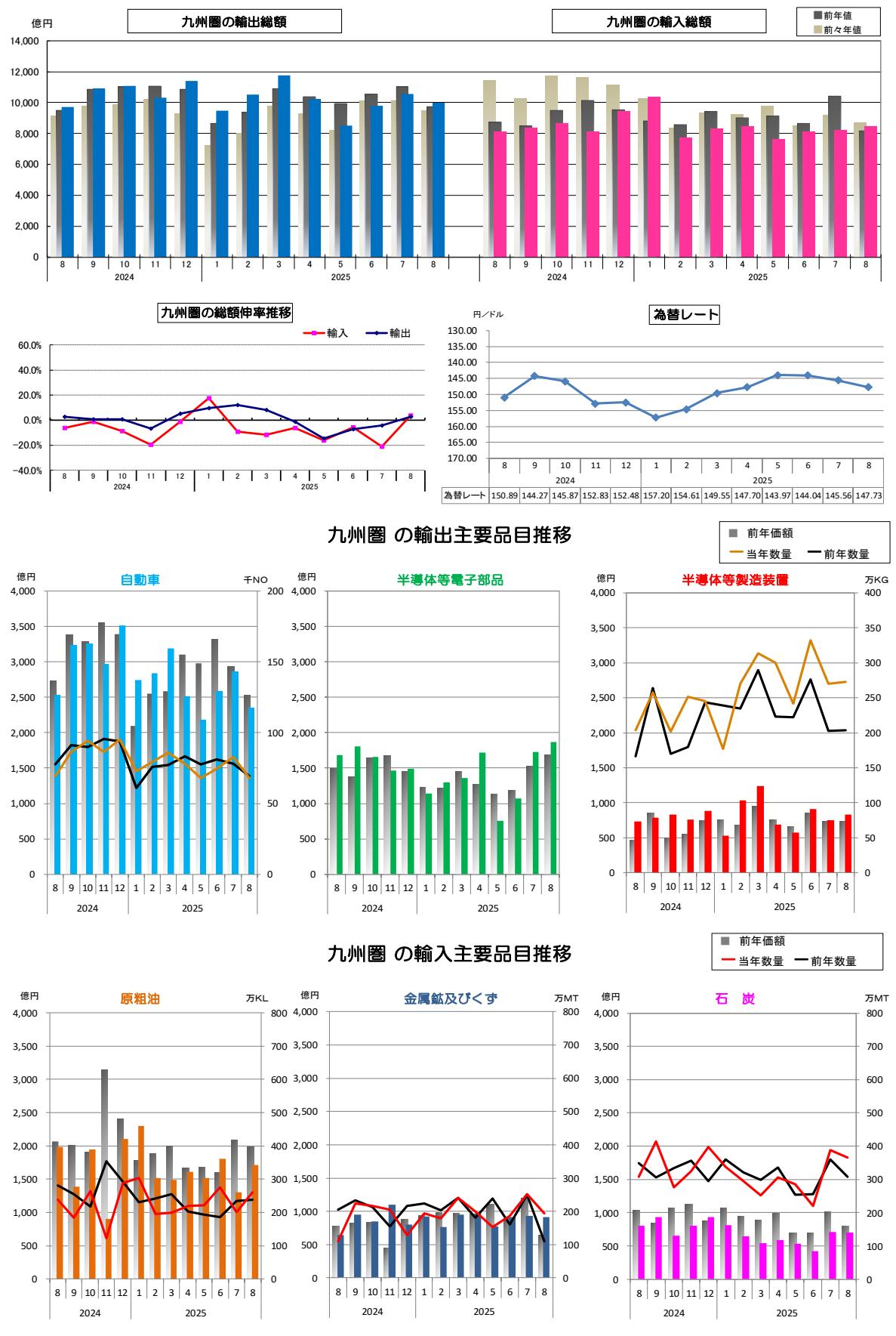
航空機類(6千万円→531 億円、伸率:936.8倍)は、アメリカ(1千万円→529 億円、同4143.7倍)からが増加し、5か月連続のプラスとなった。

また、金属鉱及びくず(647 億円→910 億円、同+40.7%)は、銅鉱(357 億円→488 億円、同+36.6%)が増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、原粗油(239万KL→260万KL、同+8.9%、1,984 億円→1,711 億円、同▲13.8%)は、アラブ首長国連邦(120万KL→86万KL、同▲28.2%、980 億円→540 億円、同▲44.9%)及びクウェート(34万KL→18万KL、同▲45.6%、280 億円→125 億円、同▲55.4%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令和7年8月分：速報



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。